

クローバー Clover

病院ホームページに
アクセス出来ます。



編集・発行
君津中央病院
☎0438(36)1071

2025.Mar.
vol.76



放射線治療科・耳鼻いんこう科・放射線技術科
多職種ミーティングの様子

理念

私たちは、良質で安全な医療を提供し、
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第 JC295-5 号
一般病院 2 (3rdG:Ver.3.0)
2024.8.23 ~ 2029.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 患者さんの権利と尊厳を尊重し、患者さん中心の医療を推進します。
- 2 患者さんに信頼される質の高い医療を提供します。
- 3 地域の中核病院として、高度専門医療、救急医療、小児・周産期医療、災害医療および感染症医療を提供します。
- 4 地域連携を推進し、必要とされる医療を提供することで、地域・社会へ貢献します。
- 5 職員の教育・研修を推進するとともに、次世代を担う医療人を育成します。
- 6 チーム医療を推進し、経営の健全化と明るく働きがいのある職場をめざします。

目次

看護局 8階東病棟	1	患者総合支援センター	4
医療技術局 臨床栄養科	2	君津中央病院附属看護学校	5
がん診療よもやま話	3	インフォメーション	6・7

Information

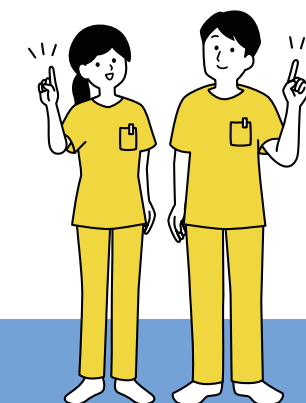
「看護の日」イベント開催のお知らせ

5月12日は「看護の日」です。日本看護協会では、これから看護の道を目指す皆さんに看護師の仕事を理解していただくことを目的として、各地で様々なイベントを開催しております。

白衣を着て注射器に触ったり血圧測定など看護師体験をしてみませんか？

看護師の仕事説明会や進路相談も行っていますので、是非お友達同士や親子でご参加ください。

日 時	2025年5月10日(土) 9:30 ~ 12:30
場 所	君津中央病院 4階講堂 (夜間・休日出入口から直接お入りください)
予 約	不要
参加費	無料
対象年齢	小学生～高校生 保護者
内 容	進路相談・白衣で写真撮影・血圧測定・血中酸素濃度測定 注射器にふれてみよう体験



詳細は4月以降に
「千葉県看護協会 ホームページ」をご確認ください。

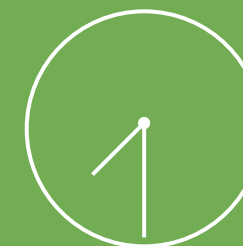
正面玄関の開錠時間変更について

2025年(令和7年)4月1日から
開錠時間を変更させていただきます。

【変更前】
午前 7時00分



【変更後】
午前 7時30分



令和7年4月1日から正面玄関の開錠時間を午前7時30分とさせていただきます。
開錠開始時間前にお越しいただいても、院内にご案内することができませんので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

【お問合せ先】事務局医事課 TEL 0438-36-1071 (代)

医療技術局 臨床栄養科

臨床栄養科の紹介 ～厨房機器編～

適切な食事摂取は体力を維持し、本来の生理的な免疫力を向上し、各組織の再構築や感染への抵抗性を高める役割があり「口から食べる」ことは生きる希望や意欲にもつながります。当院では1日約1000食の食事を作っています。

今回は大量調理に欠かせない厨房機器を紹介したいと思います。

球根皮剥機

- 内側にヤスリのついた皮剥室に食材を入れ、水を流しながら回転させます。
- 遠心力により根菜類の皮剥きを行います。じゃがいもやかぶのように丸い物の皮を剥くのに適しています。



洗米機・炊飯器

- 水槽に米を入れ、水を循環させることにより米を研ぎます。
- 食缶1つで最大6kgの米飯が炊けます。



スチームコンベクションオーブン

- 温度や時間を設定し、蒸す・焼く・煮る・茹でる、全ての調理を行うことが出来ます。



ブラストチラー

- できたて熱々の食材を急速冷却します。短時間で食材への味のしみ込みをよくしたり、菌の繁殖を防いだりします。



食器洗浄機

- 当院の食器は強化磁器を主体としています。1回約3000個の食器類を2時間程度で洗浄します。



私たち臨床栄養科（管理栄養士9名、栄養士1名、調理師17名、調理員22名、事務員1名の計50名）は食事を通して皆さんの治療の応援をしています！



臨床栄養科 科長 船橋 寿恵

看護局 8階東病棟

病棟のご紹介

8階東病棟は、脳神経外科・耳鼻いんこう科・内科の3科の混合病棟です。看護師38名、看護補助者3名、クラーク1名、夜間看護補助者2名で入院患者さんに安心で安全な医療を提供できるよう業務を行っています。

脳神経外科は脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍、動脈硬化性病変、頭部外傷の患者さんを受け入れています。主な治療は点滴や内服を中心とした保存的治療から、開頭術やカテーテルを用いた血管内治療などがあります。入院早期よりリハビリが開始され、機能回復を目指します。さらに継続したリハビリが必要な場合は、県内の回復期病院と連携を図っています。

耳鼻いんこう科は聴覚・嗅覚・味覚・平衡感覚などの感覚器と、摂食嚥下・音声言語などの機能に必要な、のどの疾患・頸部に発生する腫瘍などの患者さんを受け入れています。

治療においては患者さんのQOLを十分に考慮し、点滴治療または手術が行われ、腫瘍の患者さんには手術以外に化学放射線療法が行われています。どちらの科においても、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ソーシャルワーカー・薬剤師などの多職種からなる医療チームで患者さんに関わり、回復のために協働しています。

今後も医療チーム内の連携を更に強化し、良質で安全な医療を提供し、患者さんに信頼される病棟を目指します。

8階東病棟師長 白石 裕子



第2回 医療専門職を目指す高校生のための見学会 開催決定

2024年開催の「医療専門職を目指す高校生のための見学会」は、ご好評のうちに終了いたしました。

多くの高校生の皆さんにご参加いただきありがとうございました。

多くの皆さんに、私たちの仕事を知って頂き、進路選択の参考として頂けるよう、2025年8月20日に、「第2回医療専門職を目指す高校生のための見学会」を開催することが決定いたしました！

今回は、保護者の方、進路指導の先生方にもご参加頂けるような内容を検討しております。

ホームページ、以下のQRコードで順次情報公開いたしますので、是非ご覧ください。



第1回 医療専門職を目指す高校生のための見学会

2024年度にご参加頂いた高校：木更津高校、木更津総合高校、木更津東高校、君津高校、志学館高校、袖ヶ浦高校（50音順）

見学を予定している職種

- ・薬剤師
- ・診療放射線技師
- ・臨床検査技師
- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・言語聴覚士
- ・臨床工学技士
- ・歯科衛生士
- ・視能訓練士
- ・管理栄養士
- ・調理師
- ・臨床心理士/公認心理師
- ・がんゲノム医療/
- ・治験コーディネーター

第2回医療専門職を目指す
高校生のための見学会
詳細はこちらで順次公開→



就職希望者向けの見学は、随時受け付けております。
こちらからお申し込み下さい→



がんでなーに

がんは、正常な細胞の遺伝子が傷ついてできた異常な細胞が、無秩序に増え続けて発生する病気です。

細胞の中にある遺伝子は、それぞれ決められた役割をもって働いています。その役割の1つが、細胞の増殖とその抑制です。正常な細胞は、体や周囲の状態に合わせて遺伝子が適切に働くことにより、増えたり、増えることをやめたりしています。

正常な細胞が分裂するときなどに、偶然、遺伝子に「傷」が生じることがあります。また、この傷は、喫煙、ウイルスや細菌などの感染、さまざまな化学物質、放射線などの外的要因によって生じることがあります。この傷のことを遺伝子の「変異」といいます。さまざまな原因で生じた遺伝子の変異によって、細胞が無秩序に増え続けるようになることがあり、このようにしてできた細胞のかたまりを「腫瘍」といいます。

腫瘍は、腫瘍をかたちづくる細胞の増え方や広がり方の違いから、大きく悪性腫瘍と良性腫瘍に分けられます。悪性腫瘍は、細胞が無秩序に増えながら周囲にしみ込むように広がったり（浸潤）、血管などを介して体のあちこちに飛び火して新しいかたまりを

作ったり（転移）する腫瘍です。放っておくと全身に広がり、体にさまざまな悪い影響をもたらすため、ほとんどの場合、治療が必要になります。悪性腫瘍のことを「がん」ともいいます。

がんは、がんが発生した細胞の種類によって「固形がん」と「血液がん」の2つに分類されます。固形がんは、がんが発生する細胞によってさらに「癌腫」と「肉腫」の2つに分類されます。

癌腫とは、体の表面や消化管および気道などの内側、臓器などを覆う「上皮細胞」に発生するがんのことです。肺がんや胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がんなどは癌腫のひとつに数えられます。

一方の肉腫は、上皮細胞以外に発生するがんのことです。具体的には骨や筋肉などを作る細胞にできるがんで、骨肉腫や軟骨肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫などが代表的な例として挙げられます。

血液がんは、名前の通り、血管や骨髄、リンパ節の中にある細胞（白血球など）に発生するがんのことです。一例として、白血病や悪性リンパ腫、骨髄腫などがあります。固形がんとは異なり、かたまりを作らずに増えるところが特徴ですが、例外として悪性リンパ腫ではかたまりが発生し、リンパ節の腫れなどを引き起こします。

君津中央病院 腫瘍内科 嬉野紀夫

出典：国立研究開発法人がん研究センター

がん情報サービス「がんという病気について」

患者総合支援センターからのお知らせ

vol.3

「上手な医療のかかり方」

2024年9月発行の君津中央病院広報誌クローバー74号で、「かかりつけ医」を持ちましょう！というご案内をさせていただきました。厚生労働省の「上手な医療のかかり方プロジェクト」では、かかりつけ医を持つ重要性について広報がされています。

皆さんがご病気やお怪我をされて医療機関を受診する時、「何となく大きい病院のほうがいい」「総合病院で、〇〇科のついでに△△科も受診したい」という理由で大病院を受診すると、大病院に患者さんが集中してしまい、医療を受ける患者さんにとっても、医療機関にとっても、様々なデメリットが生じます。

●患者さんが集中することにより、診察の待ち時間が長くなる。

●患者さん一人ひとりに対する診察時間が短くなる。

●重症の救急患者さんや高度な医療を要する患者さんに医療が行き渡らなくなる恐れがある。

医療を提供する医療機関の数や、医師や看護師など医療を支える人々の数は限られて

います。そうした中で、質の高い医療サービスを提供するために、医療機関は機能に応じた役割分担をする必要があります。

診療所やクリニックは日常的な病気や怪我の治療を担当、大病院は重症の救急患者さんや高度な医療を要する患者さんへの医療を担当、というように、医療機能に応じた役割分担をし、連携して地域の医療を支えなければなりません。

大病院の外来に軽症の患者さんが集中すると、大病院が本来担う役割を果たせなくなってしまう。必要なときに必要な医療を受けられるように、一人ひとりが考えて、上手に医療機関にかかることが重要です。

政府広報オンライン「上手に医療機関にかかるにはどうしたらよいのでしょうか？」
(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201902/1.html>) をもとに作成



がんサロン開催のお知らせ

がん患者さんやご家族が病気の悩みや体験を語り合うサロンを開催しています。治療以外のことで、他の患者さんはどうしているんだろうということがたくさんあると思います。多岐にわたる様々な体験や取り組みについて、先に歩む患者さんから知ることは、当事者同士だからこそ得られる深い共感、気持ちの救いになることがあります。

がんサロンは、療養生活上の困難に対処するため、具体的ななおかつ実践的な情報交換の場でもあります。また、ご自身の体験で得た知識を共有する事で、生き甲斐になっていらっしゃる方もいます。繋がることで、生きる力になることもありますので、お気軽にお越しください。

日時	令和7年3月21日（金）、4月18日（金）、5月16日（金） 毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで
場所	4階 講堂1 ※予約は必要ありません。費用無料です。
お問合せ	TEL：0438-36-1071（代） 担当：がん相談支援センター 保坂まで

人事行政の運営等の状況の公表

令和5年度人事行政の運営等の状況を病院ウェブサイトに掲載しました。
詳細は、ホームページから

ホーム→ **君津中央病院企業団** → **人事行政の運営等の公表** をご覧ください。



健康診断のご案内

就職前に必要な健康診断（雇入時健康診断）や、労働安全衛生法に基づく健康診断（定期健康診断など）を行っています。

団体での申込も可能です。



健康診断ご利用のご案内のページ

人間ドックのご案内

病気の早期発見のための人間ドックを行っています。病気はある程度進行しないと自覚症状が現れません。詳しい検査を多項目行うことで、病気の早期発見や、健康診断では発見できなかった異常が見つかることもあります。病気の早期発見・早期治療へつなげるために、定期的な人間ドック受診をおすすめします。



人間ドックご利用のご案内のページ

採用情報

現在、君津中央病院では一緒に働く仲間を募集中です。

採用中の職種等、詳細は当院ホームページよりご確認頂けます。



採用情報はこちら

お問合せ先

事務局人事課採用担当
TEL 0438-36-1071(代)

きみフェス!!2024 盛況のうちに終了しました

君津地域リハビリテーション広域支援センターでは、地域市民の皆さんに向けた健康増進と健康寿命の延伸を目的に「きみフェス!!」を毎年開催しています。

今年度も多くの方々にご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。

ご協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。

今年度のテーマは「高血圧」でした。

袖ヶ浦どんぐりクリニックの院長 松戸裕治先生と玄々堂君津病院の若梅怜亜先生にご講演いただき、予防の観点からの分かりやすいご説明と、松戸先生の温かな人柄あふれるお話に、会場に笑顔が広がりました。

参加者の皆さんにおかれましても、有意義で魅力的な時間をお過ごしいただけたことと思います。

来年度もより良い内容を企画し、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

君津地域リハビリテーション広域支援センター事務局

アンケート回収率：47%

きみフェス!!2024
～いつまでも元気に暮らし続けよう～

テーマは「高血圧」

地域の健康増進や疾病予防を目的に、今年度もきみフェス!!2024を開催いたします。4市（大津、君津、富津、袖ヶ浦）にまたがる君津中央病院グループに医師や管理栄養士による健康や、高血圧に関する健康チェックを実施します。また、健康の維持・増進に役立つ健康相談コーナーを設置し、毎年の健康チェックに役立つ健康情報の配布も予定しています。さらに、お持ちの健康情報を活用した運動のアドバイスや、がんについての健康相談などの実施の場もあります。皆様のご参加を心からお待ちしております。

日時 2024年9月21日(土) 13:00～16:30

会場: 君津中央病院(2階・4階)

申込み 参加費 不要 無料

イベント1 講演
血圧が気になる方必見!!
(講演者) 松戸裕治 先生 (医師)
若梅怜亜 先生 (管理栄養士)

イベント2 健康チェック
～血圧に関するチェック～
管理栄養士、看護師、臨床工学技士、薬剤師、保健所の5ブースを設置
～健康増進・疾病予防～
リハビリ専門職による4ブースを設置

イベント3 交流の場
4市の健康増進や災害に1分1秒、がんについての情報提供のブースを開催
地域や病院の活動を知ることができる場となります。
ぜひお越しください

※詳細につきましては、裏面をご覧ください。

主催: 君津地域リハビリテーション広域支援センター
共催: 君津中央病院
問合せ先: 君津中央病院リハビリテーション科
担当: 川名 健太 TEL 0438-36-1071(代)

参加者全員が
『有意義』と回答！

君津中央病院附属看護学校

君津中央病院附属看護学校は、千葉県看護学校協議会が今年度から企画した「学校間ピアレビュー」に参加しました。学校間ピアレビューとは、千葉県内の看護学校がお互いを評価し合い、他校教員からの評価・知見や他校の取り組みを組織運営や現状の改善に生かすものです。より良い学校づくりや、県内看護学校の連携・連帯を深めることを目的として実施されています。

この学校間ピアレビューの一環として、香取おみがわ医療センター附属看護専門学校と、鶴舞看護専門学校の先生方に、本校の「チーム医療論」の授業をご覧いただきました。

チーム医療論は、本校と千葉医療福祉専門学校が共同で昨年より実施している授業です。理学療法士・作業療法士の専門学生の皆さんとグループワークをすることで、学生のうちから将来チームとして働く専門職をお互いに理解し、多角的に考える力を身に付け、学びを深めています。授業を見学された他校の先生方からは、「他校の取り組みの実際を見学できたこと、同じ学生という立場で共同学習し、様々な気づきがあったことは勉強になった」等とご感想をいただきました。

また、本校の教員も亀田医療技術専門学校の「学生たちが主体的に教え合い、学び合うグループ学習会」や、鶴舞看護専門学校の「学生たちがワクワクするような異文化交流」等を見学させていただきました。

本校では、今後とも他校との連携を強化することにより、教育活動の発展へと繋げていき、より良い学校づくりを目指して参ります。

副学校長 遠山 美智子



お問合せ先

君津中央病院附属看護学校事務係
電話：0438-53-8767（平日 8 時 30 分～ 17 時 00 分）

看護学校ホームページに
アクセス出来ます。

